

米国財務会計基準審議会（FASB） との第 30 回定期協議の概要

ASBJ 専門研究員 てづか ふみひと
手塚 史

1. はじめに

2021 年 10 月 18 日及び 19 日の 2 日間、企業会計基準委員会（ASBJ）は、米国財務会計基準審議会（FASB）との間で、第 30 回定期協議をウェブ会議の形式で実施した。ASBJ から小賀坂委員長、川西副委員長のほかスタッフが参加した。FASB からは、Richard R. Jones 議長、Christine A. Botosan 理事、Gary R. Buesser 理事、Frederick L. Cannon 理事、Susan M. Cosper 理事のほかスタッフが参加した。

2. 全体のスケジュール

日 時	議 題
初日	近況報告
	アジェンダ協議
	開示
2 日目	リース
	金融商品
	のれん

3. 議事概要

(1) 近況報告

FASB 及び ASBJ の代表者の双方より近況報告がなされ、意見交換が行われた。

FASB の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- アジェンダ協議
- 投資家との対話を含む広範な投資家向けアウトリーチ活動
- 適用後レビュー
- 直近及び今後の FASB の開発活動

ASBJ の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- 日本における米国基準及び IFRS 基準の適用状況
- 2022 年 4 月の市場区分の見直し
- 現在の日本基準の開発アジェンダ
- 国際活動
- サステナビリティ報告

(2) アジェンダ協議

FASB が 2021 年 6 月に公表し、9 月 22 日にコメント提出期限を迎えたコメント募集文書「アジェンダ協議」（以下「ITC」という。）について、ASBJ の代表者より、アジェンダの優

先順位付け及び ITC に記載されているトピックに関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(3) 開示

ASBJ の代表者より、開示について、以下の論点に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

- 注記に関する重要性の判断の方法
- キャッシュ・フロー計算書

(4) リース

ASBJ の代表者より、リースについて、以下の論点に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

- 借手の会計モデルと利用者にとっての情報の有用性
- 貸手の会計モデル
- 維持管理費用の会計処理

(5) 金融商品

ASBJ の代表者より、金利指標改革に関連し

て、以下の論点に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

- USD 建 LIBOR の一部のテナーについて公表停止時期が 2023 年 6 月まで延長されたことの影響
- タフレガシーに対する対応

(6) のれん

ASBJ の代表者より、のれんについて、以下の論点に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

- のれんに関する定量的調査のアップデート
- 無形資産—集合的な人的資源をのれんから分離するかどうか
- IASB のプロジェクト計画

4. 次回の予定

次回の定期協議は、2022 年の前半に開催することが予定されている。